

ひろげる・つなぐ・かえる

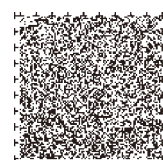


2011
2



「第2回国際交流フェスティバル」

下の模様は「SPコード」と呼ばれるバーコードで、専用の読取機で音声を聞くことができます。



特定非営利活動法人災害ボランティアネットワーク鈴鹿 理事長 南部 美智代

災害ボランティアネットワーク鈴鹿を結成して16年。続けていく事は大変でもあり有意義でもあったと私は思う。1995年1月17日の阪神・淡路大震災後、私たちに何ができるかと、各地で起きる災害の救援活動、減災をめざしての啓蒙活動等、現場の課題は山積みですが、気負う事なく、皆の想いをひとつにして、進めているのが現状です。とにかく継続は力なりと、毎月17日の午後7時、誰となく例会会場のケーブルネット鈴鹿に集まる。そして自分たちの情報交換から始まり、活動報告等、時に脱線しながらの会議が私たちの活動の原動力になっていると思う。できる人ができる事を進んでやる。依頼された講演や災害図上訓練等の報酬はすべて会の運営費に回し、会費は一切取らない事としている。

少しずつ少しずつためたお金で毎年、夏休みに実施している「こども防災サミット」や1月17日の阪神・淡路大震災の追悼行事など大きな事業を成し遂げる。そこには、やはり皆の知恵と協力が必要となります。いつも終わった時「やったね」とほほえみ合う、それが次への力に変わっていく。そこに明日を見出す。10年以上続けている「こども防災サミット」の成果は、何といても小学校低学年から参加している子どもたちが、防災リーダーとして育ってきていることです。つらい時もありますが、楽しみに変えながら、一步一步踏みしめて歩いていこうと思う。

もちろん、私たちのやり方がベストでありいつまでも続けていけるとは思っていませんが、今私たちができる事を模索し、微力ながら解決していく。そしていざという時、その持てる力をメンバーのそれぞれが発揮していく。それでいいと私は思っている。誰を頼る事もなく、常にメンバー同士の絆を結んでいく。集まれる人が集まり、語らいの中から生まれる数々のプラン。なのに気がつけば大きな事業を成し遂げている。そんなNPOもありではないでしょうか。考えようでは無に等しい活動かもしれませんが、「一寸の虫にも五分の魂」の諺のあるように、いざという時のためにさらに活動強化に努めたいものである。

助成金情報



市民活動



環境



福祉



まちづくり



国際



環境・福祉・国際

(社)全日本冠婚葬祭互助協会

第12回社会貢献基金

受付期間 2011年2月末日必着

対象団体 非営利組織、又は大学、研究機関(個人も可)で、今回募集する助成対象事業の趣旨に合致する事業を行おうとしている団体等。

対象活動 原則として、平成23年度事業を対象。

- (1) 研究助成事業 (2) 高齢者福祉事業
- (3) 障害者福祉事業 (4) 児童福祉事業
- (5) 環境・文化財保全事業
- (6) 国際協力・交流事業

助成金の額 総額およそ1000万円。1件当たりの助成額上限は200万円。但し、研究助成事業においては、上限100万円。※詳細はホームページを参照ください。

応募方法 募集要項はホームページにて閲覧可。申請用紙をダウンロードして作成のこと。応募書類の提出は郵送にて。

問い合わせ先 (社)全日本冠婚葬祭互助協会 社会貢献基金 運営事務局
〒105-0004 東京都港区新橋 1-18-16
日本生命新橋ビル 9F
Tel 03-3596-0061 Fax 03-3596-8030

HP <http://www.zengokyo.or.jp>



まちづくり

(社)再開発コーディネーター協会

「平成23年度URCAまちづくり企画支援事業」

受付期間 2月1日(火)～2月28日(月)(郵送の場合は当日消印有効)

対象団体 市街地において地域の活性化、まちづくりなどを継続的に行っている、または行おうとしている団体等を対象。

対象活動 ・支援対象団体等が常時活動対象としている地区において、地区の活性化を目的として実施する事業。
・事業の内容は特に制限を設けず、ハード整備やイベント等のソフト事業等幅広く対象とし、特に地区活性化の意欲が感じられ、創意工夫に富むこと。

助成金の額 総額100万円

応募方法 事業概要や支援希望金額等を記載した所定の申込書を協会宛に提出。申込書類は協会HPからダウンロードできます。

※詳細は下記協会ホームページにてご確認ください。

問い合わせ先 (社)再開発コーディネーター協会
URCA まちづくり企画支援事業 事務局 宛て
〒105-0003 東京都港区西新橋 2-16-2
全国たばこセンタービル 9階
Tel 03-3437-0261
Fax 03-3432-8908 (お問い合わせ: 荒井)

HP <http://www.urca.or.jp>

自分がそだち
人がそだち
組織がそだつ



ドギマギした時のマナー研修基礎

多くのボランティアの方々や、地域の方達にご利用いただく市民活動（支援）センターで働くスタッフにとって、マナーや接遇の基礎を身につける事はとても大切なことです。日頃その機会に巡り合えない方、ぜひ一緒に学びませんか。センターの交流の機会にもしていきたいですね。今回は、めいわ市民活動サポートセンターとみえ NPO センター・ワーカーズコープが共催で行います。お申込みお待ちしております。

- 講師** (株) Will Staff 吉川 由美さん
日時 2月25日(金) 13:00～16:00
場所 明和町中央公民館 研修室
対象 市民活動（支援）センターのスタッフ及び関係者、
人とのコミュニケーションに興味のある方
募集人数 20名程度（先着順）
参加費 500円 ※要申込
共催 (特活) めいわ市民活動サポートセンター
みえ県民交流センター指定管理者 みえ NPO センター・ワーカーズコープ

お問い合わせ先

(特活) めいわ市民活動サポートセンター

Tel 0596-52-7129

Fax 0596-52-7739

✉ hearvo@ma.mctv.ne.jp

HP <http://www.ma.mctv.ne.jp/~hearvo/>

みえ NPO センター・ワーカーズコープ

Tel 059-222-5995

Fax 059-222-5971

✉ center@mienpo.net

HP <http://www.mienpo.net/center/>

市民活動

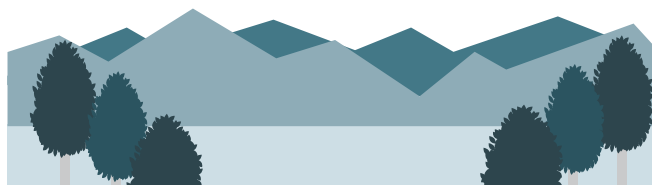
2011 年度(第 9 回)ドコモ市民活動団体への 助成募集案内

- 受付期間** 2月1日(火)～3月31日(木) 必着
対象活動 「子どもを守る」をテーマに子どもたちの健やかな育ちを応援する活動
※詳細はホームページを参照ください。
助成金の額 助成総額 2,500万円(上限) 予定。1団体あたりの助成額は50万円を標準額とし、200万円までの申請を可能としますが、標準額を超える申請の場合は施策内容などを審査のうえ、決定とします。
応募方法 ホームページからダウンロードした申請書に必要事項をご記入のうえ、MCF事務局宛てにご送付ください。
問い合わせ先 (特活) モバイル・コミュニケーション・ファンド(ドコモ MCF) 事務局
〒100-6150 東京都千代田区永田町 2-11-1
山王パークタワー 29 階
Tel 03-3509-7651
(平日 10 時～17 時 土日祝除く)
Fax 03-3509-7655
HP <http://www.mcfund.or.jp/>
✉ info@mcfund.or.jp

環境

平成 23 年度公益信託自然保護ボランティア ファンド活動助成

- 受付期間** 4月5日(火) 必着
対象団体 助成の趣旨に合致し、かつ指定の条件を満たす全国の団体(非営利団体)
対象活動 現地、現場(国立公園及び国定公園)におけるボランティア活動
助成金の額 1件50万円以内が原則。総額600万円を予定
応募方法 所定の申請書類を作成し、推薦者経由で提出。応募用の書類は自然公園財団宛てで請求してください。
※詳しくは下記ホームページをご覧ください。
問い合わせ先 (財) 自然公園財団
〒105-0003 東京都港区西新橋 2-11-6
ニュー西新橋ビル 8 階
Tel 03-3592-1171 Fax 03-3592-1175
HP <http://www.bes.or.jp/>



NPO から寄せられた募集とご案内

三重ボランティア基金認定事業

Salon de "TRUE BEAUTY"

【パニック障害、摂食障害、強迫性障害、社会不安障害の当事者のサポートグループ】

あなたは、ひとりじゃない。あなたの悩みや問題をグループで語り合い、分かち合いませんか？今ある悩みを話してみませんか？あなたの参加をお待ちしております。

日 時 2月3日(木)

13:00～15:30

※講演「笑い人とづきあい」

場 所 白子駅前ストーリーホテル

2階(ニューポート)

参加費 700円

問い合わせ 090-1750-6245

(平日9:00～18:00)

グループ代表 河西 恭子

NPOの新しいうごきを議論する

みえNPO検討会

第11回 コミュニティビジネス・社会的企業について

大阪NPOセンター理事で事務局長の山田裕子さんを講師にお招きし、企業システムと市民資源の融合による、地域課題の解決への取り組みについて議論します。

日 時 2月4日(金)

19:00～21:00

第12回 どこにお金を使うのか

市民参加型予算決定システム ファンドレイジング

シーズ・市民活動を支える制度をつくる会 コミュニケーションディレクターの鈴木歩さんをお招きし、市民活動への資金の新たなながれづくりについて議論します。

日 時 2月18日(金)

19:00～21:00

場 所 アスト津3階(津駅東口隣接ビル)

みえ市民活動ボランティアセンター

問い合わせ (特活) みえNPOセンター

Tel 059-222-5995

✉ mienpoken-office@miraiwork.jp

HP http://www.mienpocenter.org

子育て支援

友達作ろう！親子でクッキング

～おにぎりブラウニーを作ろう！～

日 時 2月15日(火)

10:30～13:30

場 所 四日市まんなか子ども劇場

みんなの居場所「きらり」

対 象 未就園児の親子

参加費 300円(豚汁付き)

※今回のみ、居場所代は無料です
ですので、初めての方もぜひ遊びに来て下さい！

持ち物 お米一合、エプロン

募集人数 定員15組(要予約)

※定員になり次第締め切ります

問い合わせ 四日市まんなか子ども劇場

Tel & Fax 059-351-6670

「CSR3.0」セミナー

～企業もNPOも“社会貢献”がビジネスチャンス！～

【CSR3.0とは…】

「本業とは直接関係ない慈善活動」のCSR1.0。「本業を通じた社会貢献(商品売上の一部を寄付など)」のCSR2.0。そして、これからは、CSR3.0の時代。社会的課題をビジネスチャンスと捉え、「企業利益」と「社会的課題の解決」の両立をはかる考え方が、すでに幾つかの企業で浸透、実践されています。それがCSR3.0です。

日 時 2月19日(土)

19:00～20:30

場 所 松阪市市民活動センター

(松阪市日野町788 カリヨンプラザ3階)

内 容 19:00～20:15…講演

・CSR3.0について

・企業とNPOが連携する社会貢献で、双方に利益を生んだ事例紹介

・連携で行うコースマーケティングの事例紹介

20:15～20:30…質疑応答

20:40～21:40…懇親会

講 師 竹井善昭氏

ソーシャル・ビジネス・プランナー／株式会社ソーシャルプランニング代表
※著書「社会貢献でメシを食う」(ダイヤモンド社)

対 象 地域密着を目指す企業、地域貢献に前向きな企業、社会貢献をビジネスチャンスと考えたいNPO

参加費 【Aコース】1,000円

(セミナー参加のみ)

【Bコース】2,000円

(セミナー+講師著書付き)

【Cコース】3,000円

(セミナー+講師著書+懇親会)

※要予約 詳しい内容とお申込は、下記のホームページをご覧ください。

主 催 (特活) Mブリッジ

問い合わせ Tel 0598-23-8400

Fax 0598-23-8488

✉ info@m-bridge.jp

HP http://m-bridge.jp/nextdoor/

第16回ステップワンチャリティーコンサート

「杉ちゃん & 鉄平」

クラシックを遊ぶ音楽実験室

小規模作業所を開設して今年で21年目を迎えることができました。「地域で共に生きる」という想いを広げることと深刻な運営資金を補うために、1987年から15回にわたり「小室等」「永井隆」「上田正樹」「綾戸智絵」のほか、ジャズ・室内楽・和太鼓などのチャリティーコンサートを開催してきました。16回目を迎える今年も、誰もが知っているクラシックの名曲や童謡、CMソングから街で聴こえる環境音まで何でもマッシュアップ(=融合)させ、聴くだけでなく観て楽しいコンサートを全国各地で展開するヴァイオリンとピアノのデュオ「杉ちゃん & 鉄平」のお二人を迎えてコンサートを開催します。

日 時 2月25日(金)

19:00～(開場18:00)

場 所 伊勢市観光文化会館大ホール
(近鉄宇治山田駅前)

対 象 小中高生、市民ほか

料金を払っていただけたら、誰でも参加していただけます。

参加費 小中高生前売り……2,000円

一般前売り……………3,500円

当日 両チケットとも500円増

主 催 (特活) ステップワン

問い合わせ Tel & Fax 0596-23-6677

(杉田・中川)

✉ stepone@amigo2.ne.jp

HP http://www.geocities.jp/stepone_ise/

初心者歓迎!

『エクセル』を覚えて地域活動に役立てよう!

- 簡単な表計算の練習や連絡網、回覧板等を作成(初心者向)。
- 収支報告書や名簿等を作成しながら様々な機能の使い方を練習します。エクセルを活用したい方にお勧めです。

日時 第1回 2月27日(日)
10:00~11:30

第2回 3月下旬頃

場所 なやプラザ3階 会議室3
(四日市市蔵町4-17)

対象 ノートパソコン(エクセルが使用出来る)をご持参できる方ならどなたでも。

※ノートパソコン貸出有。(但し、数に限りがあります)

参加費 1,000円/回

募集人数 20名

応募締切 2月26日(土) 18時まで

主催 (特活)MLS みえ生涯学習支援室

問い合わせ Tel 059-392-5355

Fax 059-347-5100 (小野)

E-mail npo-mls@live.jp

HP <http://npomls.web.fc2.com/>

出店者募集!!

市民活動支援フリーマーケット

市民活動団体が活動していくための資金作りの機会を目的としたフリーマーケットを開催します。活動資金づくりのため、また、自分たちの団体の活動を知ってもらうために出店しませんか?個人出店者による手づくり雑貨の販売や日用品、リユース品の販売もOKです。

日時 3月19日(土)
10:00~16:00

(搬入は9時から可能)

場所 みえ県民交流センター

(アスト津3階) 交流スペース
およびイベント情報コーナー

募集数 市民活動団体:先着20団体

個人出店者:先着20者

※専門業者による販売はお断りいたします。

※手作りの食品、生もの、生き物、コピー商品、公序良俗に反するものの出品はお断りいたします。

参加費 1ブース1,000円
(1団体(1者)につき1ブースの申込みに限る)

応募期間 2月1日~2月28日
※募集数に達し次第締め切ります。

応募方法 みえNPOセンター・ワーカーズコープまで参加費を添えてお申し込みください。

問い合わせ みえNPOセンター・ワーカーズコープ(みえ県民交流センター指定管理者)

三重県津市羽所町700 アスト津3階

Tel 059-222-5995

Fax 059-222-5971 (三好)

E-mail center@mienpo.net

HP <http://www.mienpo.net/center/index.html>

志摩ロード ボランティア

志摩ロードパーティ2011

ボランティア募集

日時 4月17日(日)
8:30~14:00

場所 志摩スペイン村周辺
(志摩市磯部町)

- 内容**
- ①コースボランティア
各コースポイントでランナーへの給水・応援など。
 - ②会場ボランティア
選手受付、大会運営のサポートなど。

対象 積極的に活動していただける高校生以上の方。

中学生以下は家族や指導者同伴で参加できます。

応募方法 ・近鉄主要駅、県内の市民活動センターにある申込書に必要事項を記入の上、郵送またはFaxしてください。

・志摩ロードパーティ2011ボランティア募集のホームページからメールで申し込みもできます。「志摩ロード ボランティア」で検索!!

応募締切 3月1日(火)

問い合わせ 志摩ロードパーティ2011ボランティア受付

Tel 0599-43-6331

Fax 0599-43-4449

E-mail shima.rpv@gmail.com

HP <http://shima2011.blog136.fc2.com/>

E-mail

HP ホームページ

【情報を提供していただく皆様へ】

市民活動・ボランティアニュースの原稿用フォーマットができました!

掲載希望の際は、ホームページからフォーマットをダウンロードしていただき、E-mailまたはFaxにて以下の要領でお送りください。

- (1)フォーマットに必要な事項を入力の上、毎月10日までにお送りください。
- (2)E-mailは件名に「市民活動・ボランティアニュースへの掲載希望」と明記してください。

ホームページ

原稿用フォーマットダウンロード手順

トップページから「みえ市民活動・ボランティアニュース」のボタンをクリック。「イベント情報投稿」「募集情報投稿」の2種類がありますので、掲載内容によってお選びください。「申し込みフォーム」をクリック後、出力していただくか、データをパソコンに保存してお使いください。

<http://www.mienpo.net/center/>

E-mail center@mienpo.net

Fax 059-222-5971

転載を希望の場合は必ず「みえ県民交流センター指定管理者:みえNPOセンター・ワーカーズコープ」に連絡してください。

みえぎんNPOローン

好評取扱中

委託金、助成金等の受け取りまでの「つなぎ資金」として最高500万円まで無担保でご融資!

対象:三重銀行の三重県下営業エリア内に主たる事務所を有するNPO法人

※ただし、当行所定の審査の結果、ご希望に添えないことがあります。

“地域とともに” “みなさまとともに”

詳しくはTEL059-354-7130(担当 松川)まで
URL: <http://www.miebank.co.jp>



三重銀行

株式会社、社団法人等の法人設立から許認可手続まで

NPO・社会福祉法人設立

事業報告、各種変更届等の作成もお手伝いします。

フリーダイヤル **0120-406-414**

奥島要人行政書士事務所(本町総合事務所LLC内)
三重県津市本町14-18 URL www.e-houmu.info

障害がある人個人の問題ではなく、 障害のある人を受け入れない社会こそに 問題がある

特定非営利活動法人 ピアサポートみえ

理事 佐々木 康弘 理事長 松田 慎二

障害当事者自らが中心となり、地域で生活 するための支援を目的として始めた

「特定非営利活動法人ピアサポートみえ」創設の経緯とミッションについて教えてください。

障害当事者が地域で生活するための支援を、障害当事者自らが中心となってやりたいということで始めたのがきっかけです。

最初は、僕ら特に重度の身体障害の当事者が、施設ではなくて地域で生活することを一番大きな目的としており、NPO法人を設立したのは、僕自身が施設に入らんと、地域でヘルパーさんの介助を受けながら自立していきたいという思いで立ち上げました。

ミッションは、障害当事者が地域で生活するための環境を整えること。具体的には、ホームヘルプサービスとか、啓発活動とか、あるいは県のモデル事業の委託を受けて、障害者自立生活体験室やピアカウンセラー養成講座、それと平成22年から Studio Peer という現在のところ精神の方が中心の場なんですけど、地域で集まる拠点づくり、そんな活動もやらせてもらっています。



ピアカウンセラー養成講座（身体）

自分たちにとって必要なことを仲間と自由に やれる場を

Studio Peer 創設の経緯とめざしておられるところをお聞かせください。

当然やけど僕も当事者の一人で、自由に過ごせる場というのがなかなか無いもので、かつ管理されなくて、ほんまに自由に過ごせる場を作りたいと…。利用者さん自らでいろんなことを決めて、ゆくゆくは利用者さんも運営の中心になってもらえるような場にしたいなと思ってつくったんです。

だいたい曜日によってメニューが決めてあって、バンドの練習とか、テニスとか、パソコン教室とか、たいがい自分の好きなことをメニューに入れているんです。運動と音楽というのが非常に大事ななと思って。今までも地元でテニスとか音楽とかやって来たんで、それを津の仲間と一緒にやれたらなと。普通に誰でもそうやけど、障害があろうが無かろうが、運動や音楽というのは健康に非常に大事なことやと思うんで…。

毎日昼ごはんは、皆で一緒に食べてて、つくるのも一緒にやってくれる方に手伝ってもらっています。中には包丁なんか持つのも初めてとか言う方もいてはるんです。普段「あかん、あかん」とか言われて、「普通のことなかなかやらせてもらえてない」というのがあると思うんで、何でも一緒にやってもらいたいと思っています。

県のモデル事業とか、精神の人たちの活動の拠点とか、身体だけでなく、「地域で暮らす」というキーワード

ドで活動が広がっていけばいいなと思います。



バンド活動 / スタジオピア

当事者性を活かせるモデル事業に三重県自体が取り組んでいることが画期的

資源や資金確保、運営の仕組み・支援などは、どうしておられるのですか？

資金の方は重度訪問介護というのがメインの仕事なんやけど、ヘルプサービスの事業の方で何とか黒字を保っているの、そこで出た収益というか、それを元にいろいろ活動させてもらっています。しかしながら県のモデル事業でも、恐らく赤字やろね。

重度の僕もそうなんやけど、ドア・ツー・ドアというか、家から会場までの介助は必要なわけですね。そうすると、そういった全般の介助の費用とかは、なかなかモデル事業の中には含まれてない部分もあるし、やりくりをしながらやらせてもらっているという…。

でも、こういったモデル事業を三重県自体が取り組んでくださっているということが画期的なことなんで、そこら辺は僕らとしてはすごくありがたいし、僕らの当事者性を活かせるモデル事業を県がやってくれたということを、かなり評価できる事やとは思っています。

昔は、朝と昼と夕方1時間ずつ、1日3時間しかヘルプがなかった。もちろん泊まり介助というのは友達とか知り合いなど、すべてボランティア。その中に行政の方もみえて、そういう関係の中でモデル事業と繋がっていったんやないかなあと思います。

僕が一人暮らしする中で、行政の方たちとの話し合いや活動の中で行政の人からも理解してもらってそういうモデル事業が必要であるということから実現していったと思います。

障害のある人が普通に地域で暮らせる環境に向けて

今後の課題と将来展望はいかがですか？

障害のある人が普通に地域で暮らせる環境って、なかなかやっぱり難しいし、障害当事者の意識も変わら

なければいけないし、また地域に住んでいる一般の人たちの意識も変わっていかなくかんから、そこら辺を、あわててもなかなか伝わらないし、まあ、ボツボツやっていかんと、仕方ないということかな。

障害があって、あることで生活上いろんな困難とか出てきますやんか。その困難とか生活上の問題というのは、その障害がある人の個人の問題とか、障害がある人を抱えている家族の問題だと思われがち。社会もそういう感じでとらえられとるし、障害がある自分が悪いのと違うかなあと、なんか引け目とか負い目とか、そういう感じでとらえがちやから、そこら辺の考え方を変えていかなあかん。

だから障害者権利条約とかが国連で採択されて、日本はまだ、批准してないんやけど、あの考え方でいくと、「障害がある人が生きていく上で出てくるさまざまな困難とか問題というのは、障害がある人の個人の問題と違って、その障害のある人を受け入れない社会こそに問題がある」という考え方が、あそこで言われている。

たぶん「合理的配慮」ということやと思うのやけど、そこら辺のとらえ方を、僕ら障害当事者本人も世間の人たち一般社会の人たちも互いに「そういう社会に問題がある」という視点に立つという、社会モデル的な障害のとらえかたをしていくことが、やっぱり一番大事なんやけど、そこら辺をどう具体的に、僕らが日常活動の中で当事者も含めて社会を変えていけるかが課題やと思います。僕らが生きていく間に実現できるかできないかぐらい。

でもね、そういう考え方を僕らが発信し続けることが大事ななあと思います。



スタジオピア前で

【データ】

〒514-0027 津市大門7-15
津センターパレス3階 津市民活動センター内
Tel & Fax 059-213-9577
E-mail peershinji@yahoo.co.jp
ホームページ <http://www.zd.ztv.ne.jp/peersupport-mie/>
代表者 理事長 松田慎二
団体設立年月日 2007年9月1日
NPO法人化年月日 2007年9月1日
会員数 20名
会費 2,000円



県民交流センターの一角にある図書コーナーでは、NPO、協働、ボランティア、福祉、環境、防災など、いろいろな分野の活動に役立つ本や資料、ビデオを貸し出しています。ぜひお立ち寄りください。

〈Monthly Selection〉

◆『第6回パートナーシップ大賞』受賞事例集
『NPO&企業 協働の10年 これまで、これから』
編集：岸田眞代
発行：特定非営利活動法人パートナーシップ・サポートセンター

◆『NPO 法人 会計基準【完全収録版】』
編著：NPO 法人会計基準協議会 発行：八月書館発行
第1部 NPO 法人会計基準
Ⅰ NPO 法人会計基準の目的 Ⅱ 一般原則 Ⅲ 財務諸表等の体系と構成 Ⅳ 収益及び費用の把握と計算—その1
Ⅴ 収益及び費用の把握と計算—その2 Ⅵ その他の事業を実施する場合の区分経理 Ⅶ NPO 法人に特有の取引等 Ⅷ 財務諸表の注記
第2部 実務担当者のためのガイドライン
パターン分類された記載例 NPO 法人会計基準 Q&A 〉

とぴくす

NPOにかかわる全国的な動きなど、お伝えしたいことを随時、取り上げます。

新しい時代の幕開け～税制改正大綱

2010 年 12 月 16 日、NPO 界に大きな衝撃が走った。政府が、税制改正大綱を閣議決定し、公表したのだ。この制度の改正により、大きく変わったポイントは 2 つである。

1 つ目は、認定 NPO 法人の認定要因が緩和されたということ。この改正により、今までより多くの団体が認定 NPO 法人と認められることが期待される。政府の狙いは、認定 NPO 法人を増やすことで、企業や市民が NPO に寄付しやすい環境をつくることである。

2 つ目は、寄付税制の改正である。これは、企業や個人が NPO に寄付をすることで、所得税や住民税の税額が、寄付額の 40% 分控除されるという仕組みになっている。政府は全国に寄付文化を定着させることで、資金面から NPO をサポートし、地域活性化の推進を促す方針を打ち出した。この改革をきっかけに、市民活動がより地域に広がることを期待したい。

【参照】 <http://www.npweb.jp/modules/news1/article.php?storyid=3384> NPOWEB】

みえ市民活動

ボランティアセンターから

お知らせ

Tel 059-222-5995

ホームページ <http://www.mienpo.net/center/>

NPO 無料よろず相談

毎回 2 団体先着順のため、相談日の 1 週間前までにお申し込みください。

【対象】 NPO 法人設立を考えている団体や個人、NPO・中間支援センタースタッフ、NPO・市民活動に関心がある市民など。

【日時】 毎月第一火曜日（祝祭日の場合は翌日）

(1) 10:00～11:00 (2) 11:00～12:00

【今後の予定：2 月 1 日、3 月 1 日】

【場所】 アスト津 3 階（津駅東口隣接ビル）みえ県民交流センター

【相談員】 みえ県民交流センター指定管理者 みえ NPO センター・ワークスコープ
グループ代表 みえ NPO センターの代表理事、同事務局長

みなさまお気づきでしょうか？

表紙のイラストは、三重県各地の風景が毎号つながるように描かれています。これまでのバックナンバーにはこんな地域が描かれていました。

● 5 月号 桑名地域 ● 6 月号 四日市地域 ● 7 月号 鈴鹿地域 ● 8 月号 津地域
● 9 月号 松阪地域 ● 10 月号 伊勢地域 ● 11 月号 鳥羽地域 ● 12 月号 志摩地域
● 1 月号 尾鷲地域 ● 2 月号 熊野地域

次号からの風景は発行日まで楽しみに！

これからもみえ市民活動・ボランティアニュースをご愛読いただきますようお願いいたします。

表紙の写真

平成 21 年に引き続き平成 22 年も行われた『国際交流フェスティバル』。「ちがいを知り、楽しもう！」がコンセプトで、世界の国々の文化を知って、楽しく交流しようというのですが、第 2 回目は「食、踊、歌、知、買」の 5 つをテーマに開催されました。各国のダンスパフォーマンスをはじめ、国際のど自慢大会、食のコーナー、ミニシンポジウムなど、参加された皆さまは大いに楽しんでいただいた様子でした。また、今回もたくさんのボランティアの皆さんに、各コーナーを盛り上げて支えていただきました。

みえ市民活動・ボランティアニュースはこちらにあります。

【地域の市民活動センター等】〈津 市〉みえ市民活動ボランティアセンター/津市市民活動センター/三重大学/看護大学/三重短期大学/高田短期大学 〈桑名市〉桑名市市民活動センター 〈いなべ市〉いなべ市市民活動センター 〈東員町〉とういんボランティア市民活動支援センター 〈四日市市〉四日市市市民活動センター/みえチャレンジプラザ/四日市大学 〈亀山市〉亀山市市民協働センター 〈鈴鹿市〉市民ネットワークすずかのぶどう/鈴鹿国際大学/鈴鹿医療科学大学/鈴鹿市立白子公民館 〈松阪市〉松阪市市民活動センター/三重大学 〈伊勢市〉いせ市民活動センター/皇学館大学 〈鳥羽市〉鳥羽 NPO ネットワークセンター・結 〈志摩市〉志摩市市民活動支援センター/横山ビジターセンター 〈名張市〉名張市市民活動支援センター/エコリゾート赤目の森/名張市立図書館/名張青年会議所/皇学館大学名張キャンパス/名張市総合福祉センター 〈伊賀市〉伊賀市市民活動支援センター/ウィリアム・テルズ アップル まちづくりセンター/伊賀市中央公民館/伊賀市立図書館/上野青年会議所 〈尾鷲市〉東紀州コミュニティデザインセンター 〈明和町〉めいわ市民活動サポートセンター 〈南伊勢町〉南伊勢町町民文化会館 〈紀宝町〉紀宝町ボランティア市民活動センター

【地域の社会福祉協議会】県内の市町村社会福祉協議会

【金融機関・企業等】百五銀行各店/第三銀行各店/三重銀行各店/東海労働金庫各店/メディカル光各調剤薬局

【行政機関等】三重県庁県民ホール/三重県地域機関(各県民センター[桑名、四日市、鈴鹿、津、松阪、伊勢、伊賀、尾鷲、熊野])/三重県栄町庁舎(情報公開窓口)/三重県総合医療センター/三重県立一志病院/三重県立志摩病院/三重県立こころの医療センター/三重県立こころの健康センター/斎宮歴史博物館/三重県立博物館/三重県立図書館/三重県生涯学習センター/三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」/三重県人権センター/三重県身体障害者総合福祉センター/三重県環境学習情報センター/三重県鳥羽パート情報センター/三重県立熊野古道センター/各市町役場

成立した特定非営利活動法人（登記年月日）

NPO 法人 モーターススポーツ子ども支援協会 (平成 22 年 8 月 6 日)
おたすけ BILLY (平成 22 年 12 月 6 日)
ソレイユ (平成 22 年 12 月 9 日)
遊休農地活性化楽農倶楽部 (平成 22 年 12 月 16 日)
(平成 22 年 12 月 10 日～平成 23 年 1 月 9 日届出分)

協賛

みえ市民活動・ボランティアニュース発行にあたり、協賛をいただいております。

キラリと光るあなたの銀行
第三銀行

百五銀行
FRONTIER BANKING

JAバンク
三重県下JA/JA三重連

三重銀行

健全・安心・貢献
東海ろうきん

RE70

PRINTED WITH
SOYINK

古紙 70% の紙と環境にやさしい植物性大豆インキを使用しています。